クマの被害に遭わないために

クマに出会わないようにしましょう！

・クマの活動時間帯（早朝・夕方）は、森の近くでの農作業、山菜採りなどは控えましょう。
・ドングリ予報で大量出没の可能性のある年は十分な警戒を！
・どうしても森に入る場合はカウンターアソールト（クマ撃退スプレー）などを携帯し、クマとの近接的な遭遇に備えて下さい。クマは臭い、音に敏感ですが、目が悪いので、鈴やラジオなど音の出るものを必ず携帯してください。

クマを里に呼び寄せないようにしましょう！

・クマは美味しい野菜や果樹の味を覚えると執着します。スイートコーン畑・果樹園・養蜂場は電気柵で囲い、放置果樹は撤去しましょう。
・山に近い場所での畑の残渣、生ゴミ、コンポストなども適切に管理しましょう。

農地・集落周辺の環境整備をして、見通しをよくしましょう！

・身を隠す場所がたくさんあると、クマは安心して里へ降りてきてしまいます。林縁・農地脇の藪の刈り払いや、里山の間伐、下草刈りを推進しましょう！
・電気柵は雑草が伸びて漏電すると、電圧が下がり、効果がなくなります。草刈りなどの管理をしっかりしましょう！

2012年秋
クマの大量出没にご注意ください。

ブナの凶作年はクマ出没に注意

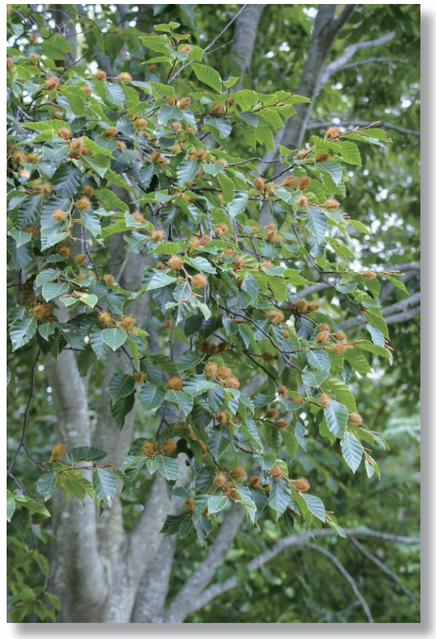
新潟県はブナ林の面積が多く、豊かなブナ林がツキノワグマの生息域に広がっています。しかし今年、ブナの種子がほとんど実らないことがわかっています。山の実りが不作のため、H18年やH22年秋に起こったクマ大量出没が、今年の秋起こる可能性が高いと予測されています。

十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロ
国際自然環境アウトドア専門学校
新潟ワイルドライフリサーチ
長岡技術科学大学

ブナの豊凶

ブナの花（4-5 月）

開葉と共に雄花・雌花が顔を出します。



ブナの種子

豊作の年には枝先いっぱいに種子が実ります。

ブナの種子は豊作・凶作がはっきりしており、枝先いっぱいに花や種子をつける年（豊作）がある一方、全くつけない年があります（凶作）（図1）。また種子の豊凶は、県内の広い範囲で同調することがわかっています。新潟県はブナの森が広範囲に分布しており、ブナの豊凶が森の生き物に大きな影響を与えると予想されます。

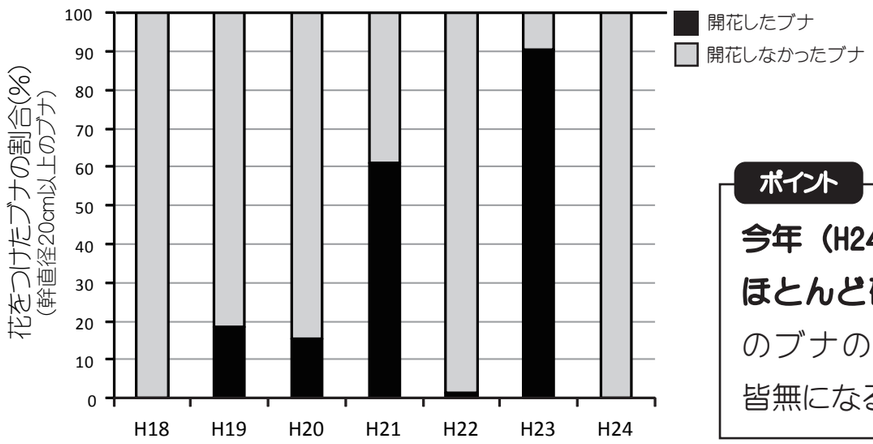


図1. 十日町市松之山における7年間のブナの開花率の変動

（十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロの未発表データより作成）

ポイント

今年（H24）はブナの開花がほとんど確認されず、県内のブナの種子の実りはほぼ皆無になると考えられます。

クマの出没時期

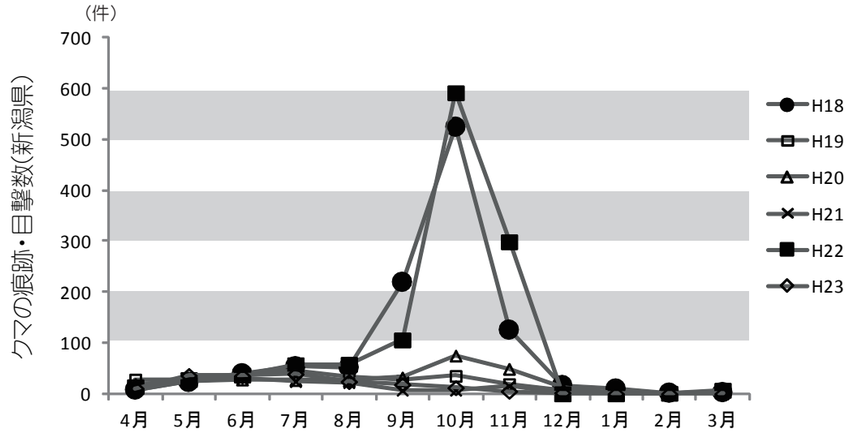


図2. 新潟県における過去6年間の月別クマの痕跡・目撃数の推移

（新潟県のデータより作成）

ポイント

クマの出没のピークは秋（9 ～ 11 月）に集中しており（図 2）、ブナの種子が地面に落ちる時期とほぼ一緒です。また、**大量出没が起こった年（H18・H22）は、ブナの種子の凶作年と一致**しています。

クマの出没予測

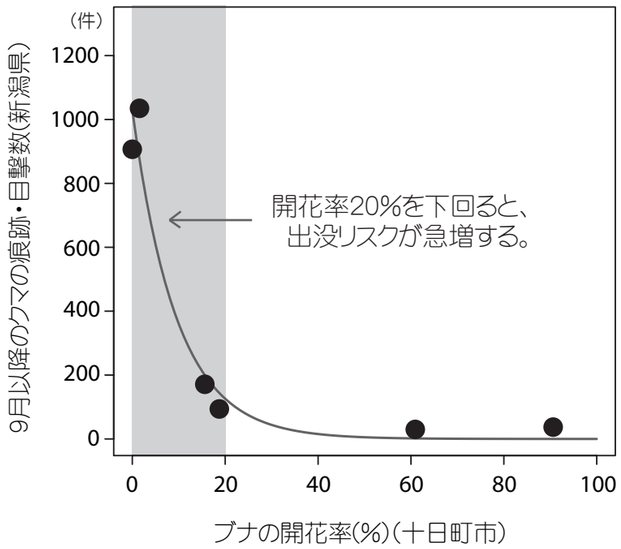


図3. 過去6年間のブナの開花率と9月以降のクマの痕跡・目撃数との関係

（十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロの未発表データより作成）

ポイント

十日町市松之山で得られたデータから、「春」にブナの開花率を調べることで、「秋」のクマの出没リスクを高い精度で予測できる可能性が示されました（図 3）。今年はブナの開花がほぼ皆無のためで、**秋のクマの出没リスクが非常に高い**ことが予想されます。